

会長からの手紙

2025.1.6

先日は (隣) 組単位の行事への町内会費からの補助の可否に対するアンケートに御協力いただき有難うございました。賛成・反対の結果は各組毎に分けて先月の回覧でお知らせしました。多数の要望・意見をいただいたので、漏れなく紹介しました。正反対の意見も出ており、町内会員のなかでもこのように異なる考えの方がおられることを知ってびっくりした方は多いと思います。

アンケート結果をもとにして、12月の組長・役員会で (会議室利用最終時刻 21:00 まで) 議論しました。その他の事項も含めて議事録で確認をお願いします。この手紙は、これらの議論を補足して説明するとともに、会長を務めてみて、私が考えたことをお知らせし、今後の町内会運営の役に立てるために書きました。

1. 隣り組単位の活動への補助

反対の主な理由:

(1) 組長の負担が大きい、(2) ミカン狩りに使うべき、(3) 組単位の行事は必要なし、(4) 総会で承認されていない、(5) 町内会費削減にまわせ

会長の提案：「組に補助金を出して、使い方は全くの自由にする」

これは、アンケートの中で何人かの人が提案していたもの。これに対して、様々の意見が出ました。今回の提案は、上にあげた反対の理由をすべて解決しています。極端では、組単位の行事は何も行わないで、会費削減のために希望者には現金千円を渡すことも可能です。あるいは前の役員会で否決された (会長提案) 組単位のミカン狩りに使うことも可能です。最後に、各世帯毎に千円の補助を出すことを役員に意見を聞いたところ、反対する意見は一人も出ませんでした。反対意見 (4) については、アンケートを全戸に配って意見を聞いたので、総会にかけたのと同じことだと考えています。

来年度の予算の費目は、ミカン狩り以外の懇親交流事業にも柔軟に対応できるように、広い記述にすべきだと思います。

2. ミカン狩

この行事については、何年か前の役員会 (私は福祉員としても含めて、5年間

は連続して出ているので、経過は承知)で、問題点が指摘されています。

問題点: 町内住民の懇親・交流の目的からずれている

その理由 : (1) 参加者は家族単位で車で来て、弁当とミカンを受け取ったら、さっさと帰る。昔のミカン狩りは、参加者が皆で歩いて行きミカン狩りと弁当を組単位で集まって楽しんでいた。今は、車を持っていない人たちは、最初から参加することができない。

備考 : 雨天時対応が難しいので、弁当はだいぶ前から廃止されました。会長が今年のミカン狩りは、柔軟に対応できる組単位で (車も誘い合って同乗) 行うことを提案したけれども、組長がたいへんになるとの主な理由で、否決されました。それで、代替案がある組の方から出て、組単位のその他行事への補助 (アケート) につながっています。

3. 日の里まつり

1 丁目独自の祭りとして、去年は秋まつりを行っています。今年はどうするか議論しましたが、結局中止となりました。

理由: (1) 子供みこしなどの準備が間に合わない。(2) 秋まつりを 1 丁目独自に行うのは、日の里全体の祭りの主旨に合わないのではないかと。

備考: 子供神輿はまだ十分に使えることを、組長・役員全員が公園に集合して確認した。その後、会長がコミセン協議会に諮ったところ、各町内会が独自に秋祭りを行うことには、何ら問題は無いとの、お墨付きをもらった。

4. その他

すべての会員が行事に参加するのは無理です。例えば、福祉会の対象者は 70 才以上であり、200 名以上います。全員が参加すると会場と費用が問題になります。1 丁目の祭りについても、例年、役員と子供会が主体で行い、住民は家の近くでみこしながめ、さい銭を上げるだけです。役員の番が 5~10 年ごとに廻ってくるので、これでよいと思います。

調べてみると、町内会費のみを払って、組長、役員を出していない世帯もかなりおられます (主に賃貸アパート)。ただし、ゴミ出しや防犯灯以外の恩恵をほとんど受けてはおらず、会費納入だけでも十分貢献して下さっています。祭りやどんど焼きなどの行事には、これらの方や非会員であっても参加していただきたいと思います。

町内会費を下げたいとの意見が時には出ます。ただし、組長や役員を務めると、手当が 15000 円以上（役職によって違う。会長は町内会から 12 万円、コミセンから 14 万円以上、合計 26 万円以上）出ています。これは町内会費の約 3 年分にあたります。役員を 6 年ごと務めるとすれば、実質の町内会費は半分ぐらいになります。会費が高いかどうかは、個人によって異なります。現役で高収入の方は、忙しいので会費の額よりも、町内会役員になる負担が気になるでしょう。したがって、町内会役員の仕事は互いの事情に即して分担をすべきです。あくまで、自治ボランティア団体です。何か問題があれば、この原点に立ち返って考えれば、いい知恵が出るでしょう。

日の里地区は新興団地であったにもかかわらず、祭りを中心として、住民の交流・きづなが強いという伝統があります。ただし、高令化が進むと同時に、若い世代への交代期にあり、今までとおりの活動は難しくなっています。ちなみにアパート 3 区は町内会自体が解散しています。さて、日の里地区の近くの八並交差点付近には断層帯が走っているそうですので、地震の可能性があります。アンケートの意見にもあったように、地域住民の絆が強いと、火事や地震などの災害の折に、助け合いがうまくいくようです。

「できる人ができる範囲で楽しく」参加できる 町内会をめざしましょう。